

第2学年〇組 社会科学習指導案

1 単元 日本の諸地域「中部地方」

2 指導観

- 本単元は、地理的分野(3)日本の諸地域について、③「産業を中核とした考察の仕方」について、中部地方を取り上げ、単元を構成したものである。

中部地方は、北陸・中央高地・東海の三つの地域に分けられる。地形や気候といった自然環境などの差異により、それぞれの地域において異なる産業が発達してきた。世界有数の豪雪地帯である北陸においては、豊富な雪解け水を利用した水田単作地帯が広がっている一方、冬季は農業ができないことから、副業として伝統産業・地場産業が発達している。中央高地はかつて養蚕が盛んで製糸業が中心であったが、戦争中の工場疎開を契機として、精密機械、電気機械工業が発達している。また、高冷地や扇状地を活かした農業が盛んで、高速交通網の発達とともに発展した。東海においては、かつて繊維工業が盛んであったが、繊維工業の衰退とともに織物機械製造の技術を活かした輸送機械工業に移行した。東京大都市圏と大阪大都市圏の中間であり太平洋側に位置するという立地条件と、古くから交通の要所として発達した交通網を背景に、現在では世界的な自動車産業の集積地となり、日本の経済を牽引する地域である。また、温暖な気候を利用した農業生産、大消費地との近接性を活かした園芸農業が盛んである。

以上のように、中部地方は三つの地域がそれぞれ異なる地理的条件を活かしながら特色ある産業が発達しており、自然環境・歴史的背景・他地域との結びつきなど他の中核となる地理的事象と関連付けて考察しやすい地域である。また、中部地方について産業を中核とした考察の仕方での学習することは、産業立地の概念的知識を習得する上で意義深い。

- 本学級の生徒(名)に中部地方の産業に関する事前アンケートを行った(名回答)。アンケートの内容は中部地方の産業に関する景観写真を三つの地域に振り分け、その理由を答えるものである。まず、北陸の稲作については名、東海の自動車については名が正しく回答した。理由の多くは新潟県で米、愛知県で自動車の生産が盛んだというものであった。中央高地のぶどう栽培は名、レタス栽培については名が正しく回答したが、理由は標高が高いというものが多かった。また、北陸のメガネフレーム生産は名、洋食器生産は名であったが、理由について地場産業と豪雪との関連は全く見られなかった。また、メガネフレーム生産については名、洋食器生産については名が東海と間違えて回答した。

以上のことから、アンケート以前に(2)日本の地域的特色と地域区分を学習しているのので、半数以上の生徒たちは北陸の稲作、中央高地(扇状地)の果樹園、東海の工業についてイメージをもつことができていると言える。しかし、北陸の地場産業も東海であると回答する生徒も多く、産業と自然環境など他の地理的特色との関連で捉えることができているとは言えない。

- 本単元では、中部地方の産業について、自然環境・歴史的背景・他地域との結びつきなどと関連付けて捉え、説明できるようにすることねらいとする。そのために、各次において次のような手だてをとる。
 - ・第一次においては、中部地方の北陸・中央高地・東海の各地域でそれぞれ特色ある産業に違いがあることを認識し、探求する意欲をもつことができるようにするために、各地域を代表する県の農業生産額、工業生産額の割合を比較する活動、それぞれの地域の産業の分布を調べる活動を設定する。
 - ・第二次においては、北陸・中央高地・東海のそれぞれの地域で特色ある産業が発達している理由を吟味し、説明することができるようにするために、一つの地域について農業・工業が発達している理由を調べ、同質の小集団で自分の考えを吟味する活動と異質の小集団で互いに考えを説明する活動を設定する。また、それぞれの地域の特色ある産業への理解を深めるために、時代とともに変容する事例を提示し、読み取る活動を設定する。
 - ・第三次においては、中部地方の産業について、自然環境・歴史的背景・他地域との結びつきなどと関連付けて捉え、説明できるようにするために、単元の学習をまとめ、視点を明確にした上で、イラストマップを作成する活動を設定する。

3 目標

- 中部地方の産業について、自然環境・歴史的背景・他地域との結びつきなどと関連付けて理解している。【知識及び技能】
- 中部地方において特色ある産業が発達している理由を、自然環境・歴史的背景・他地域との結びつきなどと関連付けて説明し、イラストマップを作成することができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 中部地方の特色ある産業を調べ、意欲的に探求しようとする。【学びに向かう力、人間性等】

4 単元計画（6時間）知：知識・技能 考：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

次時	学習活動・内容	手だて	評価規準																								
一 2	<p>1 中部地方の特色を大まかに捉える。</p> <p>(1)既習事項を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置、境界、地形、気候 <p>(2)富山県、長野県、愛知県の農業産出額、工業生産額割合を比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山…米、金属・化学 ・長野…果実・野菜、電気機械 ・愛知…野菜・花卉、輸送機械 <p>2 学習課題を設定する。</p> <p>(1)北陸・中央高地・東海のそれぞれの地域の特色ある産業を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸…稲作、地場産業 ・中央高地…精密機械、レタス、果物 ・東海…自動車、楽器、花卉、野菜 <p>(2)学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>中部地方の各地域で、それぞれ特色ある産業が発達している理由を捉えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中部地方が北陸、中央高地、東海の三つの地域に分けられることを確認するために、地形、気候などの既習事項を確認し、各地域の特色を捉える場を設定する。 ○ 三つの地域で特色ある産業に違いがあることを認識できるように、資料集を使用し、富山、長野、愛知の各県の農業生産額、工業生産額の割合を比較する活動を設定する。 ○ 三つの地域で発達している特色ある産業を具体的に捉え、探求する意欲をもつことができるように、それぞれの地域の産業の分布を調べる活動を設定する。 	<p>知：中部地方の位置、境界、地形、気候を理解している。</p> <p>態：北陸、中央高地、東海のそれぞれの地域の特色ある産業を調べている。</p>																								
二 3	<p>3 北陸・中央高地・東海のそれぞれの地域で特色ある産業が発達している理由を吟味し、説明する。</p> <p>(1)特色ある農業が発達している理由を吟味し、説明する。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td></td> <td>北陸</td> <td>中央高地</td> <td>東海</td> </tr> <tr> <td>自然環境</td> <td>雪解け水</td> <td>扇状地 冷涼</td> <td>温暖</td> </tr> <tr> <td>人々の工夫など</td> <td>土壌改良</td> <td>高速道路 観光農園</td> <td>用水路 施設園芸 農業</td> </tr> </table> <p>(2)特色ある工業が発達している理由を吟味し、説明する。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td></td> <td>北陸</td> <td>中央高地</td> <td>東海</td> </tr> <tr> <td>自然環境</td> <td>冬の降雪</td> <td>乾いた空気 きれいな水</td> <td>太平洋側</td> </tr> <tr> <td>人々の工夫など</td> <td>加工技術 の発展</td> <td>工場疎開 精密機械</td> <td>紡織 自動車</td> </tr> </table>		北陸	中央高地	東海	自然環境	雪解け水	扇状地 冷涼	温暖	人々の工夫など	土壌改良	高速道路 観光農園	用水路 施設園芸 農業		北陸	中央高地	東海	自然環境	冬の降雪	乾いた空気 きれいな水	太平洋側	人々の工夫など	加工技術 の発展	工場疎開 精密機械	紡織 自動車	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前課題として、一つの地域について農業・工業が発達している理由を調べ、提出するように指示する。 ○ 自分の考えを付加修正するために、同質の小集団で自分の考えを吟味する活動を設定する。 ○ 自分が調べていない他の地域の産業が発達している理由を把握するために、異質の小集団で互いに考えを説明する活動を設定する。 ○ 小集団活動を円滑に行うことができるように、タブレット端末を使用し、データを管理する。 	<p>態：一つの地域について、農業・工業が発達している理由を調べ、自分の考えを構築している。</p> <p>考：中部地方の農業・工業の特色を、自然環境や人々の工夫と関連付けてまとめることができている。</p>
	北陸	中央高地	東海																								
自然環境	雪解け水	扇状地 冷涼	温暖																								
人々の工夫など	土壌改良	高速道路 観光農園	用水路 施設園芸 農業																								
	北陸	中央高地	東海																								
自然環境	冬の降雪	乾いた空気 きれいな水	太平洋側																								
人々の工夫など	加工技術 の発展	工場疎開 精密機械	紡織 自動車																								
	<p>4 産業の変容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海：木工→楽器、模型、発動機 ・中央高地：養蚕→精密機械、電子部品→果樹園、観光農園 ・北陸：伝統産業→アルミサッシ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時代とともに産業が変容していることを捉えることができるように、静岡県、山梨県の農業・工業などの事例を提示し、資料から読み取る活動を設定する。 	<p>知：産業の変容について、それぞれの社会的事象を関連付けて理解している。</p>																								
三 1	<p>5 中部地方の学習をまとめる。</p> <p>(1) 中部地方の各地域で、それぞれ特色ある産業が発達している理由をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>中部地方では、北陸・中央高地・東海のそれぞれの地域で、自然環境の活用や克服、歴史的な伝統文化の継承、自動車工業の発展など、<u>よりよい社会を目指す努力と工夫を続けてきたから。</u></p> </div> <p>(2)中部地方の産業についてのイラストマップを作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中部地方の学習をまとめ、イラストマップを作成する視点（下線部）を確認できるように、学習課題に答え、共有する場を設定する。 ○ 因果関係を反映したイラストマップを作成させるために、その地域の特色だけでなく、理由を明記するよう指示する。 ○ タブレット端末を使用し、データを共有しながらイラストマップを作成するよう指示する。 	<p>知：三つの地域について、特色ある産業が発達している理由を理解している。</p> <p>考：中部地方の産業についてのイラストマップを視点をもとに作成できている。</p>																								

本時
1/2

- 5 **本時** 令和3年〇月〇日（〇） 第〇校時 2年〇組教室
 6 **準備** 学習プリント、タブレット
 7 **主眼** 中部地方において、北陸・中央高地・東海の各地域の特色ある農業が見られる理由を考察する活動を通して、中部地方の農業の特色を自然環境や人々の工夫と関連付けて捉えることができるようにする。

8 **本時過程**

学習活動・内容	手だて（○）と評価（◇）	形態	配時												
1 前時までの学習内容を振り返り、本時のめあてを設定する。 (1)前時までの学習を振り返る。 ・北陸…米 ・中央高地…果実・野菜 ・東海…野菜・花き (2)本時のめあてを設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 三つの地域でそれぞれ生産される作物が異なる理由を説明しよう。 </div>	○ 前時に確認した中部地方の各地域を代表する農作物を確認する場を設定する。 ○ 本時の学習の方向性をつかむために、本時のめあてを確認する場を設定する。	一斉	5												
2 各地域でそれぞれ特色ある農業が見られる理由を捉える。 (1)自分が担当する地域の農業の特色が見られる理由を吟味する。 ・北陸…冬の降雪量、雪解け水…土地改良、品種改良 ・中央高地…扇状地、冷涼…交通網、観光農園、保冷車 ・東海…温暖、大都市との近接性…用水路、施設園芸農業 (2)自分が担当する地域の農業の特色が見られる理由を交流する。	○ 自分が担当する地域の農業の特色が見られる理由を説明できるように、班でそれぞれの地域を分担し、自分の担当地域について調べる課題を出しておき、事前に提出させておく。その際、グラフや図、写真など根拠を明確にするよう指示する。 ◇ 自分の担当地域の農業の特色がみられる理由を調べ、自分の考えを構築しているか。 <提出レポート（タブレット）分析> ○ 調べた理由を吟味できるように、違う班の同じ地域を調べた他者との小集団による話し合い活動を設定する。また、他者の意見を確認しやすいように、タブレット端末に一覧で提示し、他者とデータをやり取りできるようにする。 ○ 三つの地域の特色ある農業が見られる理由を全て把握できるように、班でそれぞれが担当した地域の農業の特色が見られる理由を説明し、確認する活動を設定する。	小集団	15												
3 各地域それぞれ特色ある農業が見られる理由を発表する。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>北陸</td> <td>中央高地</td> <td>東海</td> </tr> <tr> <td>自然環境</td> <td>雪解け水</td> <td>扇状地 冷涼</td> <td>温暖</td> </tr> <tr> <td>人々の工夫など</td> <td>土壌改良</td> <td>高速道路 観光農園</td> <td>用水路 施設園芸 農業</td> </tr> </table>		北陸	中央高地	東海	自然環境	雪解け水	扇状地 冷涼	温暖	人々の工夫など	土壌改良	高速道路 観光農園	用水路 施設園芸 農業	○ 中部地方の各地域の農業の特色を、自然環境や人々の工夫と関連付けて捉えることができるように、発表された意見を分けて板書（左表）し、共通点（自然環境、人々の工夫）を確認する活動を設定する。 ○ 人々の工夫と関連付けて考えることができるように、昔から行われていることかどうかを問い、再考を促す。	学級集団	10
	北陸	中央高地	東海												
自然環境	雪解け水	扇状地 冷涼	温暖												
人々の工夫など	土壌改良	高速道路 観光農園	用水路 施設園芸 農業												
4 本時を振り返り、学習をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 中部地方の農業の特色は三つの地域で異なり、生産されている作物も異なる。北陸は豊富な水資源を活かし、土壌改良を行い稲作。中央高地では扇状地や高冷地を活かし、高速道路を利用して出荷する果実・野菜の生産。東海では温暖な気候を活かし、用水路の設置でさかんになった施設園芸農業と、それぞれ自然環境に対応した上で人々が工夫しているからである。 </div>	○ 学びを自覚することができるように、自分の言葉で本時の学習内容をまとめる場を設定する。 ◇ 中部地方の農業の特色を、自然環境や人々の工夫と関連付けてまとめることができているか。 <学習プリント分析> ○ 理解の深まりを実感できるように、既習内容である宮崎県のピーマン栽培（促成栽培）を自然環境、人々の工夫などに分けて説明する類似課題を出す。	個人	10												